

県内経済の動き

概況

〔4月～6月の動き〕

個人消費関連の改善が目立つ

鉱工業生産指数（4月）は2カ月ぶりに前年同月比上昇、通関輸出額（5月 細島港）は3カ月連続で前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（5月 全店ベース）は前年同月比増加に転じ、「軽」を含む乗用車の販売台数（6月）は3カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（5月）は2カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（6月 保証対象請負総額）も前年同月比増加に転じている。有効求人倍率（5月：1.51倍）は前月比+0.01ポイント上昇した。6月の企業倒産は件数、負債総額ともに前月比増加、件数は4件増の5件、負債総額は3億83百万円増加し3億96百万円となった。

個人消費関連項目は前年同月比増加し、改善のうごきがみられる。生産面では鉱工業生産指数がプラスに転じ、総じて緩やかな回復が続いている。